〔資料　3〕

令和４年度「地域年金展開事業」取組実績
（コロナ禍における地域年金展開事業の取組）

令和５年2月

金沢北年金事務所
（石川県代表事務所）

日本年金機構
Japan Pension Service

目　次

1　地域連携事業……………………………… 1

2　年金セミナー事業…………………………… 2

3　地域相談事業……………………………… 5

4　お客様サービスモニター会議……………………… 7

5　年金委員活動支援事業………………………… 8

6　地域年金事業運営調整会議……………………… 11

7　年金事務所の取組…………………………… 12

8　ねんきん月間の取組………………………… 17

＜参考＞　前回会議に寄せられた主なご意見…………… 19

1　地域連携事業

●年金制度説明会等の実施

(1) 企業等を対象とした年金制度説明会

石川県内の年金事務所では、企業等を対象とした年金制度説明会を実施しています。

実施状況 (令和４年4月～令和5年1月)

実施対象	回数	受講者数
従業員・所属員・加入員向け	11回 （ 0回 ）	161名 （ 0名 ）

※（　）は令和3年4月～令和4年1月

(2) 担当職員を対象とした年金制度説明会

市町担当職員、社会保険労務士会の会員の方々に年金制度説明会を実施しています。

実施状況 (令和4年4月～令和5年1月)

実施対象	回数	受講者数（のべ）
市町担当職員	6回 （ 15回 ）	24名 （ 15名 ）
社会保険労務士会の会員	0回 （ 0回 ）	0名 （ 0名 ）

※（　）は令和3年4月～令和4年1月

(3) 離職者を対象としたリーフレットの配布

コロナ禍により制度説明会（国民年金加入・保険料納付及び免除制度）が開催出来ないためハローワークの協力によりリーフレットを配布しています。

(4) 住民の方を対象としたリーフレットの回覧

町内会の回覧版に国民年金制度のリーフレットを入れ制度の広報をしています。

(5) ラジオを活用した広報

エフエムかほくで年金制度説明会（偶数付きの第2月曜日夕方15分）。

２－１　年金セミナー事業

●教育現場における年金セミナーの実施

石川県内の年金事務所では、教育機関にご協力をいただき、大学・短大、専門学校、高等学校等に、公的年金制度の周知活動（年金セミナー）を実施しています。（対面・非対面）

実施状況 (令和４年4月～令和５年1月)

対象 [県内校数]	学校数	実施回数	受講者数
大学・短大 [17校]	2校 （　1校）	3回 （　1回）	67名 （37名）
専門学校 [57校]	7校 （　6校）	7回 （　8回）	245名 （303名）
高等学校 [57校]	13校 （15校）	13回 （15回）	743名 （1406名）
中学校 [89校]	0校 （　0校）	0回 （　0回）	0 名 （　0名）

◎毎年２月
石川県の教育委員会へ依頼

◎毎年４月
各年金事務所から管内の教育機関へ依頼

※1（　）は令和3年度の実施再掲（主に非対面）
※2［　］内出展元：平成29年度学校基本調査（文部科学省）

２－２　年金セミナー事業

●地域年金推進員の委嘱

教職員OB（現役の教職員でも可）の方を、学校との連絡・調整や年金セミナーなどの活動を行う「地域年金推進員」として委嘱しています。

【主な活動内容】

①学校への年金セミナー実施の依頼　②学校側との事前打ち合わせ
③年金セミナー資料準備　④年金セミナー実施　⑤アンケートの確認

委嘱状況（令和5年1月現在）

設置事務所	委嘱日	セミナー実施回数
金沢北・七尾	委嘱なし	0回

２－３　年金セミナー事業

●「わたしと年金」エッセイ募集

日本年金機構では、今年度も自身やご家族などの身近な方と、公的年金制度との関わりや考えなどをテーマに、「わたしと年金」エッセイの募集を令和4年6月１日～9月9日の間で行い、全国 2,008件の応募の中から、以下のとおり受賞者が決定しました。

賞	都県名	年代	
厚生労働大臣賞	岐阜県	高校生	三井　蒼葉
日本年金機構理事長賞	福島県	大学生	森　香菜子
優秀賞	神奈川県	50代	石井　学
	埼玉県	50代	加藤木　裕子
	福岡県	高校生	下川　侑乃
入選	神奈川県	大学生	石原　桃香
	香川県	高校生	岡田　結
	福岡県	高校生	江田　日和
	京都府	60代	斎藤　和彦
	佐賀県	50代	宮城　保之

全国応募状況

	4年度	3年度	対前年比
全国総計（参考）	2008名	1596名	125.8%

※受賞作品については、別冊の「わたしと年金」エッセイ入賞作品集をご覧ください。

３－１　地域相談事業（大学との連携）

●大学向け相談コーナーの開設

大学構内にて、学生へのパンフレット配布と学生向け相談コーナー（学生納付特例申請書の受付窓口）を開設していますが、コロナウイルス感染防止のため令和４年度は開設できませんでした。

開催状況（令和4年4月～令和5年1月）

事務所名	開催日	相談件数
石川県	実施なし	件

◎学生納付特例申請書の送付

大学構内での、学生へのパンフレット配布と学生向け相談コーナーの開設が出来なかったため、未届けの該当者にリーフレットと申請書を送付しました。

３－２　地域相談事業（総務省行政評価事務所との連携）

●一日合同行政相談所にて出張年金相談を開催

総務省石川行政評価事務所主催の一日合同行政相談所にて出張年金相談を開催しました。

開催状況（令和4年4月～令和5年1月）

開催市（開催場所）	開催日
白山市（白山市ふれあいセンター）	令和4年6月24日
内灘町（内灘町役場）	令和4年10月3日
能美市（根上総合文化会館）	令和4年10月6日
白山市（白山市ふれあいセンター）	令和4年10月12日
金沢市（金沢駅西合同庁舎）	令和4年10月18日

４　お客様サービスモニター会議

●「年金事務所お客様サービスモニター会議」

令和４年度も、お客様から直接、職員の接遇や年金相談予約制などについてご意見をいただく、「年金事務所お客様サービスモニター会議」を開催することとしていますが、今年度について石川県内での開催事務所はございません。

【会議のテーマ】
①職員の接遇　②年金相談予約制　③地域に根ざした取組

開催状況（令和４年度）

県名	開催年金事務所	開催日
該当なし	―――	―――

５－１　年金委員活動支援事業

●年金委員大会

令和４年度は中部地域第一部管内の各県において、年金委員大会を開催し、年金事業の推進・発展のためご尽力いただいた年金委員の方々の功績を讃え、厚生労働大臣・日本年金機構理事長・理事の表彰を行っています。
また、同時に年金制度の研修会を実施しました。

石川県内における表彰者数（令和４年度）

表彰区分	表彰者数
厚生労働大臣表彰	1名
日本年金機構理事長表彰	４名
日本年金機構理事表彰	４名

※年金委員：会社や地域において公的年金に関する啓発・相談・助言などを行う民間協力員。事業主や市町村からの推薦により厚生労働大臣が委嘱。

５－２　年金委員活動支援事業

●年金委員研修の開催（職域型）

石川県内の年金事務所では、年金委員の方を対象に年金制度改正等をテーマにした研修を行っています。

実施状況 (令和４年4月～令和５年1月)

対象	事業所数	回数	受講者数（のべ）
職域型向け（対面方法）	268	11回	268名
職域型向け（非対面方法）	21	3回	21名

実施状況（予定） (令和５年２月～令和５年３月)

対象	事業所数	回数	受講者数（のべ）
職域型向け（対面方法）		3回	― 名
職域型向け（非対面方法）		０回	― 名

◎年金委員への活動支援資料の送付

- 職域型年金委員（随時）ねんきんネット・年金制度等のリーフレット送付

５－３　年金委員活動支援事業

●年金委員研修の開催（地域型）

実施状況 (令和４年4月～令和５年1月）

対象		回数	受講者数（のべ）
地域型向け（対面方法）	５、８、11月	12回	６１　名

実施状況（予定）（令和５年２月～令和５年３月）

対象		回数	受講者数（のべ）
地域型向け（対面方法）	２月	４回	―　名

◎年金委員への活動支援資料の送付

・ 地域型年金委員（年４回）「年金委員だより」送付

●地域型年金委員連絡会の開催

石川県連絡会と地区連絡会（各年金事務所）を年間4回（5月、8月、11月、2月）開催し、情報提供や活動報告・意見交換を行っています。

6　地域年金事業運営調整会議

●地域年金事業運営調整会議

令和４年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を行い「地域年金展開運営調整会議」を開催し、地域に密着した公的年金制度についての周知方法や納付率向上策などについて意見聴取を行います。

開催状況（令和４年度）

県名	開催日
石川県	令和５年2月10日　開催

7-1　年金事務所の取組

年　月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
4年 通年	●石川県社労士会へのポスター掲示、チラシ配布等の協力依頼（通年）【金沢北】 ●関係団体及び企業等への年金制度説明会の開催依頼（通年）【全年金事務所】 ●ハローワークで免除制度等の周知（通年）【全年金事務所】 ●年金協会への年金委員委嘱拡大への協力依頼（通年）【金沢北】 ●機構広報誌「かけはし」による市町広報誌への掲載依頼（通年）【全年金事務所】	●大学、短大、専門学校、高等学校に対し年金セミナー実施を依頼（通年）【全年金事務所】		●機構広報誌及び関係団体広報誌に年金委員委嘱拡大の掲載依頼を実施（通年）【全年金事務所】 ●オンラインによる年金制度説明会の開催（通年）【全年金事務所】
４月	●FMかほくラジオにて年金制度広報を実施【金沢北】	●大学、専門学校で年金セミナーを実施【金沢北】	●市町施設における出張年金相談の開催【七尾】	

7-2　年金事務所の取組

年　月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
5月	●石川県社会保険協会主催の事業所研修会に講師派遣【全年金事務所】 ●金沢市各校下町会長連合会へ国民年金関係のチラシの配布を依頼【金沢北】 ●市町担当者向けの研修の実施【金沢南】【七尾】	●高校・専門学校、短大に対して年金セミナー開催の実施を【七尾】		●地域型年金委員へ「年金だより（春号）」を配布 【全年金事務所】 ●地域型年金委員「連絡会」開催【全年金事務所】
6月	●市町担当者向けの研修の実施【金沢南】 ●FMかほくラジオにて年金制度広報を実施【金沢北】	●県教育委員会等へ「わたしと年金」エッセイ募集の依頼【金沢北】	●行政評価事務所主催の一日合同行政相談所に職員を派遣【金沢南】 ●20歳到達者向け国民年金制度説明会を開催【七尾】	●年金委員研修の実施【金沢北】【金沢南】
7月	●市町担当者向けの研修の実施【金沢北】	●専門学校で年金セミナーを実施【金沢北】【小松】【七尾】 ●短大で年金セミナーを実施【七尾】	●市町施設における出張年金相談の開催【七尾】 ●20歳到達者向け国民年金制度説明会を開催【七尾】	

7-3　年金事務所の取組

年　月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
8月	●FMかほくラジオにて年金制度広報を実施【金沢北】 ●市町担当者向けの研修の実施【小松】	●専門学校で年金セミナーを実施【金沢北】		●地域型年金委員へ「年金だより（夏号）」を配布 【全年金事務所】 ●地域型年金委員「連絡会」開催【全年金事務所】 ●職域型年金委員研修の実施【七尾】
9月		●大学で年金セミナーを実施【金沢北】 ●高校・専門学校・短大に呈して年金セミナー開催の実施を依頼【七尾】	●市町施設における出張年金相談の開催【七尾】	●管内の職域型年金委員に対して、年金制度改正の周知パンフレットを送付【七尾】
10月	●市町担当者向けの研修の実施【金沢北】【金沢南】 ●管内市町へ国民年金制度周知リーフレットの配布【七尾】	●高校・専門学校・大学・短大に対して年金セミナー開催の実施を依頼【小松】	●行政評価事務所主催の一日合同行政相談所に職員を派遣【金沢北】【金沢南】【小松】 ●市町施設における出張年金相談の開催【七尾】	

7-4　年金事務所の取組

年　月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
11月	●金沢市各校下町会長連合会へ国民年金関係のチラシの配布を依頼【金沢北】	●専門学校にて年金セミナーを実施【金沢北】【七尾】 ●高校にて年金セミナーの実施【七尾】【小松】	●市町施設における出張相談会の開催【金沢南】	●地域型年金委員へ「年金だより（秋号）」を配布【全年金事務所】 ●地域型年金委員「連絡会」開催【全年金事務】 ●年金委員・健康保険委員研修及び表彰式の実施【全年金事務所】
12月	●市町担当者向けの研修の実施【小松】 ●FMかほくラジオにて年金制度広報を実施 【金沢北】	●高校にて年金セミナーを実施【小松】】【七尾】		
5年1月	●市町成人式での年金制度周知リーフレットの配布を実施【金沢南】【七尾】	●高等学校において年金セミナー実施【金沢北】【小松】【七尾】 ●専門学校において年金セミナー実施【金沢北】	●特別支援学校において障害年金制度についての説明会を中止DVD送付 【金沢北】 ●市町施設における出張年金相談の開催 【七尾】	●地域型年金委員へ「年金だより（冬号）」を配布【全年金事務所】 ●職域型年金委員研修の開催【七尾】

7-5　年金事務所の取組（予定）

年　月	地域連携事業	年金セミナー事業	地域相談事業	年金委員活動支援事業
2月	●石川県地域年金事業運営調整会議の開催 【金沢北】 ●FMかほくラジオにて年金制度広報を実施 【金沢北】 ●市町担当者研修向け研修の実施 【金沢北】【金沢南】【七尾】	●県教育委員会等へ令和５年度年金セミナーの実施の協力依頼 【金沢北】 ●大学・専門学校・高校で年金セミナーを実施 【金沢北】【小松】【七尾】		●地域型年金委員へ「年金だより（冬号）」を配布 【全年金事務所】 ●地域型年金委員「連絡会」開催 【全年金事務所】 ●年金委員研修の実施 【金沢北】
3月		●大学・専門学校・高校に対して年金セミナー開催の実施を依頼 【全年金事務所】 ●専門学校で年金セミナーを実施 【七尾】	●市町施設における出張年金相談の開催 【七尾】	

8-1　ねんきん月間の取組

●「ねんきん月間」

日本年金機構は厚生労働省と協力して、11月を「ねんきん月間」と位置づけ、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しております。

1　趣旨

・国民の皆さまに公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的としています。

2　活動内容

・年金事務所職員等による年金セミナー（研修会）の開催および出張年金相談、国民年金納付相談会を、新型コロナウイルス感染防止のため縮小して行いました。

年金事務所	取組内容	日程
全事務所	年金委員の年金大会実施 開催場所：石川県地場産業振興センター　コンベンションホール	令和4年11月24日（木）

8-2　ねんきん月間の取組

年金事務所	取組内容	日程
金沢北 金沢南 小　松 七　尾	● ねんきんネットの利用拡大 （アクセスキー発行促進・リーフレット等送付） ● 職域型年金委員の拡大（適用事業所へ推薦依頼） ● 地域型年金委員の拡大（個別勧奨） ● 年金セミナー、年金制度説明会実施の依頼 ● 全国社会年金委員研修会の案内 （職域型年金委員・地域型年金委員）	令和4年10月～12月
金沢南	白山市役所にて、出張相談会を実施	令和4年11月 8日
	野々市市役所にて、出張相談会を実施	令和4年11月 9日

●前回会議に寄せられた主なご意見

	ご意見等の内容	機構としての考え方
地域連携事業	・コロナ禍での対面での活動が困難な中、リーフレット配布中心の活動はやむを得ない。 ・コロナ禍において対面の相談業務が困難を極める中、電話・文書による相談は可能。インターネット環境を有効活用し従来の見識にとらわれない相談業務（ホームページを使ったメールやチャット等）を前向きにチャレンジしていただきたい。	・コロナ禍での年金制度説明会等については、リーフレット配布等の非対面での活動が中心となりました。今後は、リーフレット配布とあわせ、先方の意向確認をして対面・非対面による制度説明会等をより取り組んでいきます。 ・インターネット環境を活用した相談業務については、ねんきんネットを利用した記録確認等が出来ます。マイナポータルからのアクセスも可能になり以前より使いやすい環境になっています。また、ホームページには「相談チャット総合窓口」により一般的な相談にお答えしています。今後とも広報等について取り組んでいきます。
年金セミナー事業	・学生向けの年金セミナーはコロナ禍で大学が減少したものの高校が増加したことは評価したい。 ・若年者層への年金教育は非常に有意義、引続きセミナー開催のアプローチとセミナー開催を積極的に推進してほしい。 ・若年層に対する年金情報の提供は年金保険料納付に大きく影響することから特に重要と考える。 ・地域年金推進委員（教員OB）の委嘱が一向に進まないのは残念。 ・会社退職者は将来の年金生活に不安を抱えている者が多い。インターネットによる知識の習得は可能であるが、その人が必要な内容に的を絞ったセミナーは有効である。リモートを利用したセミナーの拡大により多くの人が参加する環境整備を希望する。 ・各種団体の行事を活用して年金制度研修会を実施してほしい。ターゲット（学生・若年層・女性）を絞った研修会は有効と考える。	・年金セミナー事業は、若年層（学生）に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための有効な取組みであると考えています。今後も、教育機関等にご協力をいただき、公的年金制度の周知活動を取り組んでいきます。また、教育委員会等に協力依頼の上、年金委員の委嘱に向けて取り組んでいきます。 ・引続き教育委員会等に協力依頼をして委嘱に向けて取り組んでいきます。 ・オンラインでの年金セミナー・制度説明会を、その時期にあわせた情報を配信できるよう取り組んでいきます。 ・各種団体行事での研修会開催を協力依頼いたします。

●前回会議に寄せられた主なご意見

	ご意見等の内容	機構としての考え方
年金委員活動支援事業	・コロナ禍で社会保険委員会の活動が停滞しているため、オンライン研修を開催したことは評価したい。 ・定期的な事務手続きのサポートや改正時にタイムリーな情報提供をお願いしたい。提供方法も紙に限らずホームページへの誘導、様々なメディアを使った広報の拡大をしていただきたい。	・年金委員の方々への年金制度周知については、コロナ禍の中でオンライン研修の開催に取組みました。今後も、「機構からのお知らせ」等を活用し、制度周知を図るとともに、できるだけタイムリーな情報提供を取り組みます。
地域相談事業	・大学向け相談コーナーはコロナ禍で開設出来なかったが、コロナ禍であっても出張年金相談所は相談件数が少なくても出来るだけ開催してほしい。 ・職域型年金委員の委嘱拡大を進めていただきたい。年金の企業窓口として理解と協力を得ることは地域相談事業を行ううえで重要と考える。	・大学向けに相談コーナーの設置は、20歳前後や卒業の節目での国民年金手続きを含めた若年層への年金制度周知として、重要な取り組みと考えます。感染防止対策の徹底とあわせ、教育機関のご協力をいただき取り組んでいきます。 ・年金委員の拡大に向けましては、「機構からのお知らせ」等の広報を活用し、随時勧奨案内を図ります。

●前回会議に寄せられた主なご意見

	ご意見等の内容	機構としての考え方
その他	・地域年金事業運営調整会議の開催について、「原則書面開催」とあるが、「Web会議開催」を検討希望する。 ・地域年金事業運営調整会議の開催方法について、対面やWeb開催を検討願いたい。取組みの説明や年金セミナーの実演を視聴することで年金事務所の活動が委員に伝わる。 ・コロナ禍の影響は今後も継続するため、引続きオンライン活用を前提とした取組を進めて欲しい。 ・コロナ禍による活動制限は理解するが、公的年金制度の啓発・普及に取組んでください。 ・年金協会の行事に年金制度の広報を行うので資料提供願いたい。	・地域年金事業運営調整会議の開催方法については、コロナ禍での感染防止対策及び感染リスクを考慮した上で、開催方法を検討します。 ・公的年金制度を持続的に運営していくためには、国民に公的年金制度に対する正しい知識理解を深めてもらうことが重要であるため、今後も啓発・普及に取り組むとともに、日本年金機構のオンラインビジネスモデルを進めていく中で、オンライン開催等、対面型から非対面型による取り組みを進めていきます。 ・リーフレット等の資料提供を行います。